

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●三浦皇成騎手が1万1000回、藤岡康太騎手が1万回騎乗を達成

3月18日(土)の2回中山7日・第12レースでパロットビークに騎乗した三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、史上43人目・現役28人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。翌19日(日)の2回中京4日・第1レースでゼットカレンに騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、史上50人目・現役34人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●河原田菜々騎手がJRA初勝利をあげる

3月19日(日)の2回中京4日・第8レースではテオーソラネルが1着となり、同馬に騎乗した河原田菜々騎手(栗東・渡辺薫彦厩舎)は、JRA初勝利をあげました。3月4日(土)の初騎乗から数えて25戦目での初勝利となります。

### ●上原佑紀調教師がJRA初勝利をあげる

3月18日(土)の2回中山7日・第12レースではファイアーボーラーが1着となり、同馬を管理する上原佑紀調教師(美浦)は、JRA初勝利をあげました。3月4日(土)の管理馬初出走から数えて5頭目での初勝利となります。

### ●荒川義之調教師がJRA通算300勝を達成

3月19日(日)の2回中京4日・第12レースではクリーンジーニアスが1着となり、同馬を管理する荒川義之調教師(栗東)は、現役66人目となるJRA通算300勝(延べ4713頭目)を達成しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ミュウチャリー(船橋)、サルサディオオーネ(大井)が引退

2021年のJBCクラシック(Jpn I、金沢)を制した船橋のミュウチャリー(牡7歳、父パイロ)は、右寛跛行のため競走を中止した3月15日のダイオライト記念を最後に引退、今後は誘導馬を目指すことになりました。また、JRA 4勝後に大井に移籍し、2021年の日本テレビ盃(Jpn II、船橋)、2022年のさきたま杯(Jpn II、浦和)など、ダートグレード競走に5勝したサルサディオオーネ(牝9歳、父ゴールドアリュール)も、3月1日のエンプレス杯5着をもって現役を退き、繁殖入りしています。

### ●マンダリンヒーロー(大井)がサンタアニタダービーに遠征

大井所属で昨年のハイセイコー記念の優勝馬マンダリンヒーロー(牡3歳、父シャンハイボビー)が、大井競馬と友好交流協定を結ぶサンタアニタパーク競馬場で現地4月8日に実施されるサンタアニタダービー(G1、ダート1800m)に挑戦することになりました。地方競馬所属馬のアメリカ遠征は史上初です。

### ●飛燕賞(佐賀)は伏兵ディーディーデイ【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(3月5日、佐賀、1400m)は、2番手を進んだ7番人気のディーディーデイ(牝、父スビルバーグ)が4コーナーで先頭に立って押し切りました。兵庫ユースC(3月2日、姫路、1400m)は、2番手から3コーナーで抜け出した2番人気のベラジオソノドラブ(牡、父ロゴタイプ)が2馬身半差の完勝を取め、兵庫若駒賞に次ぐ2度目の重賞制覇を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1 ゴールデンスリッパ〜シンゾウが優勝

2歳戦としては世界最高賞金(総賞金500万豪ドル=約4億5850万円/1豪ドル91.7円で換算。以下同じ)を誇るG1 ゴールデンスリッパ(2歳、芝1200m)が、現地3月18日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のローズヒルガーデンズ競馬場で行われ、R.ムーア騎手が手綱を取ったシンゾウ(牡2歳、C.ウォーラー厩舎)が内ラチ沿いの中団待機から直線で内から抜け出して1.17馬身差で優勝しました。シンゾウは、父がこれまで4度も豪チャンピオンサイヤーに輝くスニツェル、母がG1ブルーダイヤモンドSとG1 A. J. モイアSの勝ち馬サマレディという良血。デビュー3戦目となった前走3月11日のG3パゴパゴS(芝1200m)で初勝利をあげ、ここは中6日での参戦でした。

### ●オールスターマイル〜ミスターブライトサイドが制す

3月18日にオーストラリア・ヴィクトリア州のムーニーバレー競馬場で行われたオールスターマイル(3歳上、芝1600m)は、L.カリー騎手が騎乗した昨年のG1ドンカスターマイルの勝ち馬ミスターブライトサイド(騾5歳、父ブルバーズ、B&JD.ヘイズ厩舎)が優勝しました。オールスターマイルはファン投票で出走馬を決めるレースで(フルゲート15頭の内、10頭まで)、フレミントン競馬場、コーフィールド競馬場、ムーニーバレー競馬場の持ち回りで開催。今年の総賞金は500万豪ドル(約4億5850万円)です。